

小学六年

適性検査A

解答と解説

【例】						
と		う	い	ら	み	
思	わ	と	、	、	方	天
っ	た	す	持	自	に	野
て	し	る	っ	分	共	さ
い	は	姿	て	に	通	ん
る	将	勢	い	あ	す	と
。	来	だ	る	た	る	佐
以	、	。	カ	え	こ	渡
前	動		を	ら	と	さ
、	物		つ	れ	は	ん
飼	病		く	た	、	の
っ	院		し	仕	周	仕
て	の		て	事	囲	事
い	医		よ	に	の	に
た	師		い	誠	協	対
犬	に		仕	実	力	す
が	な		事	に	を	る
急	り		を	向	得	取
に	た		し	き	な	り
体	い		よ	合	が	組

100

20

〔問二〕【例】			
す	か	と	手
ぎ	る	り	術
な	者	、	に
い	と	手	向
。	し	術	け
	て	後	て
	当	の	綿
	然	レ	密
	の	ビ	な
	努	ユ	準
70	カ	丨	備
	を	を	を
	重	す	し
	ね	る	、
	て	な	十
	き	ど	分
	た	、	な
	結	命	睡
	果	を	眠
	に	預	を

60 40 20

〔問一〕【例】	
奏	楽
方	譜
法	を
を	も
決	と
め	に
て	、
い	指
く	揮
こ	者
と	が
。	専
	門
	家
	た
35	ち
	と
	曲
	の
	演

20

〔問三〕

持	え	だ	て	い	門		る	言	こ	医	た	れ	真	調
ち	る	と	住	主	的	動	心	葉	と	師	°	た	夜	を
を	人	思	み	や	な	物	構	の	が	に	こ	°	中	く
理	も	う	や	家	知	の	え	一	で	な	の	そ	に	ず
解	増	°	す	族	識	医	を	つ	き	り	こ	の	も	し
で	え	最	い	の	を	師	持	ひ	な	た	と	お	か	た
き	て	近	か	気	学	に	ち	と	い	い	が	か	か	の
る	い	は	ん	持	ぶ	な	た	つ	の	と	き	げ	わ	で
よ	る	動	き	ち	こ	る	い	に	で	思	っ	で	ら	動
う	の	物	よ	を	と	た	と	耳	、	っ	か	、	ず	物
な	で	を	う	知	が	め	思	を	飼	た	け	飼	、	病
医	、	家	を	る	必	に	う	か	い	°	で	い	医	院
師	動	族	考	こ	要	は	°	た	主	動	、	犬	師	に
に	物	の	え	と	だ	大		む	が	物	動	は	が	連
な	や	一	る	、	°	学		け	医	は	物	無	手	れ
り	飼	員	こ	動	同	に		、	師	言	の	事	術	て
た	い	と	と	物	時	行		診	に	葉	病	に	を	行
い	主	し	も	に	に	っ		察	伝	を	を	回	し	っ
°	の	て	大	と	、	て		を	え	話	を	復	て	た
	気	考	切	っ	飼	専		す	る	す	す	し	く	°

440

400

300

200

(配点)
 { [問題1] 20点
 [問題2] 30点 } 計100点
 [問題3] 50点

【解説】

問一 B1 情報を獲得する 比較 置き換え 具体・抽象

——線部①の「一人の力では実現できない」ことは、医師の仕事、医師という職業を指しています。一人前の医師になるまでに、お世話になった先生や患者さん、医療に携わる仲間などがいることが——線部①より前に書かれています。

同様のことを**文章B**で考えると、筆者の職業は指揮者の仕事であると考えられます。指揮者が演奏家と行う仕事については、第四段落に「楽譜という設計図をもとに、なかなか思い通りにはならないヴァイオリンやフルートの専門家たちを動かして、地道に音を組み立てていく」と書かれています。したがって、指揮者にとつての「一人の力では実現できない」ことは、楽譜をもとに、専門家（演奏家）たちと曲の演奏方法を決めていくことであると考えられます。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 「一人の力では実現できない」ことは、だれとだれがどのようなことをすることが**文章B**の言葉を用いて書かれているか
- ② ①の内容が過不足なく書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問二 B2 情報を獲得する 比較 置き換え 具体・抽象

——線部②の「芸術的なバツティング」がたとえている内容は、すぐ後に書かれています。「普通の人間にはできない技をととても美しい流れで見せた瞬間、それは『芸術』と呼ばれる」という部分から、普通の人にはできない人なみはずれた技をた

とえていることがわかります。

それと同じようなたとえは、**文章A**の第十一段落にある「神の手を持つ医師」という部分です。この部分がたとえている内容は、同じ段落の「『過去に執刀した手術は6500例以上。成功率98%』という実績」という部分です。つまり、数多くの手術を高い確率で成功させているという点を「神の手を持つ」と表現しているのです。

このことについて筆者は、「命を預かる者として当然の努力を重ねてきた結果の数字でしかありません」と述べています。ここで、「当然の努力」の内容を具体的に書くことでわかりやすい表現になります。まず、「手術に向けての綿密な準備」をし、良い状態で手術に臨むために「十分な睡眠」をとることが挙げられています。また、「手術後のレビューも非常に重視しています」とあることから、これらのことをきちんとこなすことが「当然の努力」だというわけです。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① **文章A**の「神の手を持つ医師」というたとえについての筆者の考えがわかりやすく説明されているか
- ② ①の内容が過不足なく書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問三 C2 情報を獲得する 理由 比較 具体・抽象 推論

文章Aと**文章B**に書かれたことをふまえながら、あなたが将来社会に出て働くときの心構えについてあなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、**文章A**と**文章B**の筆者に共通する、仕事に対する取り組み方についてまとめます。

文章Aの第六段落には、働く意味について「自分がこの手で得てきたすべてのものを注ぎ、世のため人のために尽くし、恩を返していくことである」と書かれています。加えて、「私が心臓外科医として一人前になるまでに、お世話になった先生へ未来の私がお世話になる方々」や「国から投入される莫大な税金、つまり、国民全員の支えがあつてこそ、医師という職業が成り立つ」とあります。

また、**文章B**の第五段落には、オーケストラに向かう時に心がけている姿勢として、「音楽に対して誠実であるという一点に尽きる」と書かれています。さらに、第九段落では指揮者としての本質的な要素として「『この指揮者と一緒に音楽をしたい』と思えるかどうか」という点を挙げています。

二人の筆者に共通する仕事に対する取り組み方は、周囲の協力を得ながら仕事に対して誠実に、自分の持つ力を注ぐことだと考えられます。

第二段落では、あなたが将来社会に出て働くときにどのような心構えを持ちたいかを、第一段落をふまえて書きます。たとえば、保育士の仕事をするなら、うまく言葉でコミュニケーションをとることができない幼児に寄りそいながら、親御さんをふくめて時間をかけて信頼関係をつくっていくような心構えが考えられます。自分なりに考えてまとめてみましょう。

第三段落では、第二段落で書いた心構えを実現するためには、どのように行動するべきか、あなたの考えを書きます。たとえば、言葉でのコミュニケーションが取りにくい相手であれば、行動や表情などから相手の様子や考えていることを読み取る練習をする、などということもよいかもしれません。あなたの考え方に沿って意見を書きましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落について

① **文章A**と**文章B**の筆者に共通する、仕事に対する取り組み方について書かれているか

② ①の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第二段落について

③ 第一段落をふまえて、将来社会に出て働くときに持ちたい心構えについて自分の考えが書かれているか

④ ③の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

第三段落について

⑤ 第二段落で書いた心構えを実現するために行動すべきことについて、自分の考えが書かれているか

⑥ ⑤の内容の過不足、文や語句の表現・文の意味に誤りがないか

全体について

⑦ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑧ 答案用紙の使い方が正しいか

⑨ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか

⑩ 字数制限が守られているか